

アートな気分で  
ひとときのお茶を

# ART & Cafe

Vol.1

落合、  
懐かしいな

## 泉麻人さんと めぐる落合の アート&カフェ



独自の切り口で東京の街を語る泉麻人さんと、  
新宿区のあるところにあるアートな場所へ。  
散策のあとには、味のある喫茶店でほっとひと息つきましょ。第1回は、泉さんとの縁も深い落合エリアをめぐる予定です。



### 新宿区立中村彝アトリエ記念館

新宿区下落合3-5-7 ☎03-5906-5671  
⑩10:00~16:30(入館は16:00まで)  
⑪無料 ⑫月曜日(月曜日祝日のときは翌日) / 年末年始(12/29~1/3)  
※実物作品の展示はありません →P18 D-2



アトリエと庭との  
コントラストが心地よい  
玄関に「彝」という難字の解説(さまざまな物を神に供える意)を載せた漢和辞典が置かれている。また中村は、同名の新宿中村屋の主人・相馬氏とも親しかった。

美美子の生活が垣間見える場所  
林邸のなかには、原稿を取りに来た記者らを待たせた客間、引き合わせたくない客を導いた小間、実質的な書斎となった納戸……など美美子らしいスポットがいくつも存在している。



秋が深まると、見事な紅葉を楽しめる穴場スポットに

新宿区中井2-20-1 ☎03-5996-9207  
⑩10:00~16:30(入館は16:00まで)  
⑪一般 150円 / 小・中学生 50円  
⑫月曜日(月曜日祝日のときは翌日) / 年末年始(12/29~1/3)  
平成26年12月上旬~27年2月中旬(館内整備のため) →P18 B-3



の周辺にあたる地域だが、歩いてみると仄かに往時の面影が感じられる家や道筋に出くわす。佐伯のアトリエが存在した場所は、環六東方の聖母病院近く。整備された佐伯公園の中に復元されたアトリエが置かれている。ちなみに、聖母——は僕が産声をあげた病院。教会建築のクラシックな建物は、多少改修されながらも原型を留めている。

もう少し目白寄りの方向へ行った所に、中村彝のアトリエ記念館がある。このあたりから東方は俗に近衛町(近衛文麿邸があった。現白立目白クラブなど)と呼ばれる屈指の邸宅街。中村のアトリエは小体ながら、庭の芝生とのコントラストはシャレしている。大正の建築当時の建材(戸や壁、天井)をできるだけ残して復元されたサビや汚れの見える佇まいが歴史の趣を醸し出している。

ところで、中村がここで亡くなったのは大正13年末、パリから帰国した佐伯が下落合のアトリエで創作した期間は、大正15年から昭和2年、というから、近所とはいえ本当にすれ違いだったのだ。

ASATO IZUMI  
コラムニスト。1956年、新宿区下落合出身。週刊TVガイドの編集者などを経て独立。「青春の東京地図」「大東京23区散歩」などを始め東京を題材とした著書が多い。2010年、東京周辺の喫茶店を案内する「喫茶店ブルース」を刊行。

### 新宿区立 佐伯祐三アトリエ記念館



仲間とつくったという  
ライフマスク(複製)

「文化村」があった頃の  
面影を感じて  
「下落合風景」のシリーズのひとつ、名作の「テニス」はわが母校・落合第一小学校の校長室に長らく原画が飾られていた(確か、僕の時代の校長が倉庫から発見したのだ)。

新宿区下落合2-4-21 ☎03-5988-0091 ⑩5月~9月/10:00~16:30  
10月~4月/10:00~16:00 ⑪無料  
⑫月曜日(月曜日祝日のときは翌日) / 年末年始(12/29~1/3)  
※実物作品の展示はありません →P18 C-2



下落合ブレンド、山ゆりブレンド(各460円)のほか、手作りスイーツもぜひ味わいたい



### 自家焙煎珈琲 山ゆり

今回、取材の最後につくろいだ下落合駅前の喫茶「山ゆり」。ちなみに店名は、昭和50年に現店主が開業する以前の店の名を引き継いだ。下落合ブレンド、山ゆりブレンド……煎り具合によって何種かのブレンドがある。

3つの記念館ではアートなお土産が手に入ります



新宿区下落合1-16-7 松田ビル1F ☎03-3950-4969  
⑩9:00~20:00(土・祝は9:30から) ⑪日曜日 →P18 C-3